



EMBASSY OF THE REPUBLIC OF THE PHILIPPINES

フィリピン 共和国 大使館

TOKYO, JAPAN

2022年6月8日

全国スーパーマーケット協会
会長 横山清様

フィリピン産バナナの適正価格での販売に関するお願い

貴団体におかれましては、ますますご隆盛のこととお慶び申し上げます。

平素より我が国の様々な生産物を取り扱っていただき、誠に感謝しております。さて、日本は我が国にとって政治、経済、社会的に重要なアジアの戦略的パートナーであり、最大のバナナ輸出先となっています。2021年に日本で輸入されたバナナの76%はフィリピン産であり、フィリピン産バナナは50年以上前から日本に輸入され、2021年には日本の消費者が食べるフルーツ全体の約28%を占める、いわば果物における「国民食」として、日本のみなさまに愛されてきました。また、フィリピンのバナナ農家も、日本を大切なパートナーとして考えており、日本が求める高い安全水準と品質を実現し、安定した供給を続けてきました。

しかしながら、近年、新型コロナウイルスの流行や昨今の国際情勢を受け、フィリピンではエネルギーや肥料、梱包材、物流などあらゆる価格が上昇しており、バナナ産業は生産・輸送コスト増加に直面しております。一方、日本では、フィリピン産バナナの小売価格は過去7年間ほとんど変化しておりません。こうしたコスト増は、もはや我が国のバナナ農家や流通業者の努力だけでは対処できない状況にあり、多くのバナナ農家が倒産の危機に瀕しています。いまずぐ対応しなければ、フィリピンのバナナ産業全体が持続できなくなり、日本の輸入にも支障をきたす瀬戸際にあります。

フィリピン産バナナが、これからも日本のみなさまにとって身近なフルーツであり続けるために、消費者から生産者まですべてのステークホルダーが公平に負担を共有する必要があると考えます。つまり、フィリピンのバナナ産業のサステナビリティのため、小売価格を適切な水準に値上げをしていただくことをお願いするもの

5-15-5 Roppongi, Minato-ku, Tokyo 106-8537 Japan
Tel no. (+81) 3-5562-1600 / Fax no. (+81) 3-5562-1603
<https://tokyo.philembassy.net>

です。バナナが安定的に供給されることは貴団体および小売店、消費者のみなさまにとっても有益であると考えます。

この申し出につきまして、何卒、ご理解の程どうぞよろしくお願いいたします。

駐日フィリピン共和国大使館特命全権大使
ホセ・カスティリヨ・ラウレル 5世

全国スーパーマーケット協会
会長 横山清様
101-0047
東京都千代田区内神田 3-19-8
櫻井ビル